

伊賀市シティプロモーション推進支援等業務委託プロポーザル審査結果報告書

1. はじめに

伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地域再生計画「ひとが輝く・地域が輝くためのシティプロモーション事業」に基づき、今年度市が実施するPR事業の効果検証及び伊賀市シティプロモーション指針の見直し等、本市のシティプロモーション推進に向けたPDCAサイクルに係る事業を事業者へ委託することで、民間事業者のノウハウと創意工夫により事業を効果的に推進することを目的とし、その提供が期待できる業務受託候補者を選定するため、公募型プロポーザル方式による審査を実施した。

2. スケジュール

平成29年6月6日(火)	第1回伊賀市シティプロモーション推進支援等業務委託プロポーザル審査委員会(以下「審査委員会」)
平成29年6月14日(水)	手続開始の公告
平成29年6月20日(火)	参加締切(3者から申請)
平成29年6月22日(木)	質問締切
平成29年6月22日(木)	参加資格有無通知
平成29年6月28日(水)	質問回答
平成29年7月5日(水)	第2回審査委員会
平成29年7月13日(木)	企画提案書等提出締切
平成29年7月19日(水)	第3回審査委員会
平成29年7月21日(金)	プレゼンテーション及びヒアリング審査 第4回審査委員会

3. 審査委員会

(1) 伊賀市シティプロモーション推進支援等業務委託プロポーザル審査委員会設置要綱第3条に基づき、以下の者を委員とする委員会を設置した。(委員長及び副委員長は互選)

委員長	宮崎 寿	企画振興部長
副委員長	東 弘久	産業振興部次長兼伊賀市営業本部事務局長
委員	藤山 善之	教育委員会 教育環境政策監
委員	越村 憲一	企画振興部 広聴情報課長
委員	川部 千佳	産業振興部 観光戦略課長
委員	山本 幸一郎	総務部 秘書課長

(2) 事務局

伊賀市企画振興部総合政策課

4. 審査経過

(1) 第1回審査委員会

開催日 平成29年6月6日(火)

場 所 伊賀市役所本庁 第3会議室

概 要 確認事項

- 業務委託の概要
- 実施スケジュールについて
- 実施要領について
- 業務仕様書について

協議事項

- 評価基準について
- 評価点について

(2) 第2回審査委員会

開催日 平成29年7月5日(水)

場 所 伊賀市役所本庁 第3会議室

概 要 確認事項

- 第1回議事録及び本日の事項について
- 参加申請及び質問書の提出状況について
- プレゼンテーション及びヒアリング審査実施要領について

協議事項

- 評価基準書について
- 共通質問項目について
- コスト(提案見積額)の点数配分について

(3) 第3回審査委員会

開催日 平成29年7月19日(水)

場 所 伊賀市役所本庁 第3会議室

概 要 確認事項

- 第2回議事録及び本日の事項について
- 企画提案書の提出状況について
- 当日の流れについて

協議事項

- 評価基準書の策定について

- 当日の役割分担について

(4) プレゼンテーション及びヒアリング審査

開催日 平成 29 年 7 月 21 日 (金)
 場 所 伊賀市役所本庁 第 3 会議室
 概 要 プレゼンテーション
 ヒアリング審査

(5) 第 4 回審査委員会

開催日 平成 29 年 7 月 21 日 (金)
 場 所 伊賀市役所本庁 第 3 会議室
 概 要 協議事項

- 最優秀者及び次点者の特定
- 全体講評及び個別講評について

5. 提案書提出者【受付順】

- 1 デロイトトーマツコンサルティング合同会社
- 2 株式会社 JTB 中部 津支店
- 3 株式会社総合環境計画 中部支社

6. 審査結果

(1) 最優秀者：デロイトトーマツコンサルティング合同会社

(2) 次点者：株式会社 JTB 中部 津支店

(3) 評価点【得点順】

分野	配点	最優秀者	次点者	A社
理解	10	9.7	7.8	7.2
業務項目	50	41.0	34.5	29.7
取組体制・遂行能力	20	15.0	12.7	13.7
加点(追加提案)	5	3.3	2.7	3.0
見積	15	15	15	15
減点		0	0	0
合計		84.0	72.7	68.5
順位		1	2	3

7. 審査講評

(1) 全体講評

平成 29 年 6 月 14 日から 20 日までの期間に参加募集を行ったところ 3 者から応募があり、すべての者から 7 月 14 日の期限までに企画提案書の提出があった。

審査では、提出された企画提案書に基づき、1 者あたり 20 分のプレゼンテーションと 15 分のヒアリング質疑を実施し、総合的な評価を行った。

「理解」項目については、共通質問を 4 問用意し各提案者の理解度を評価した。「業務」項目については、実施する業務内容ごとに「実施方針」及び「妥当性・実現性・具体性」の観点から評価を行った。そのうち、「実施方針」では、事業の目的達成のための論理的で創造性あふれる提案を期待し、「妥当性・実現性・具体性」の観点では、5W1H（誰が・何を・どのように）に関して、実施における課題や他の選択肢等を含む具体的な提案を期待した。「取組体制・遂行能力」項目では、人員体制及び業務従事者の実績並びにプレゼンテーションにおける資料調整力及び説得力等について評価を行った。「加点（追加提案）」項目では、本市のシティプロモーション推進において有益となる追加提案の有無並びにその実現性及び具体性について評価を行った。

各提案者からは、伊賀市まち・ひと・しごと創生に関する的確な現状分析に基づく特色ある提案が出される中で、ヒアリング質疑に対しても真摯に応答し的確な回答をいただいた。

結果として、すべての提案者が本業務を遂行しうる能力を有しており、業務を委託できる水準であると評価された。

今回、総合評価により最優秀者の特定に至ったが、委員からは、他の提案者による提案についても評価し、取り入れるべき点がある一方で、実施スケジュールやノウハウの蓄積など、事業を実施していく中での懸念や課題等についても意見が出された。

今後、本委員会において出された意見等を踏まえ、本市のシティプロモーションの推進に向け、より効果的な事業が実施されることを期待したい。

(2) 個別講評

< 最優秀者 >

本市のまち・ひと・しごと創生に関する現状と課題を的確に把握しており、事業への理解度が優れていた。業務項目においては、まちづくりラウンドテーブル及びシティプロモーション会議の実施に関するコンセプトが明確かつ具体的であり、なおかつ本業務が内包する課題やリスクについて理解するなど、実現可能性が極めて高かった。

シティプロモーションへの理解に関しては、観光プロモーションとの概念の違いを理解し、外向きだけでなく内向きのプロモーションに関する視点があるなどシティプロモーションを

トータルで捉えていたことが評価された。

全体として事業の自立性・持続性を強く意識した提案であり、次年度以降の事業展開に期待が持てる提案であった。

<次点者>

多文化共生など本市の特徴的な政策を理解しており、グローバルな視点からの提案は他者にはない着目点として高く評価された。また、モニターツアーの実施など観光プロモーションに関する具体的な提案や効果検証の手法については、非常に具体的であり実現可能性が高く、取組体制については、イベントに関する業務と計画策定に関する業務を区別し、連携して実施する体制が十分に構築されていた。

課題としては、観光に関する内容が前面に押し出された提案であり、シティプロモーションの推進という視点から目を引く部分が少なかったこと、また、交流人口の増加がもたらされる効果を市の課題解決に結びつけていくプロセスや、本市の外国人住民割合の高さの背景といった、本提案のメインターゲットとされた着目点について、一步踏み込んだ分析や視点が足りなかったことなどが挙げられた。

一方で、観光プロモーションに関する提案内容は素晴らしく、本市の他事業に生かしていただきたいという意見があった。

伊賀市シティプロモーション推進支援等業務委託
プロポーザル審査委員会
委員長 宮崎 寿